



ハワイ生まれのウクレレは、やさしい音色の弦楽器。今回の課題曲は、
 フランスの作曲家、エリック・サティの名曲『ジムノペティ第1番』です。
 ウクレレのひきかたを教えてくれるのは、ミュージシャンの松井朝敬さん。
 ひきかたのコツをまなんで、親子で楽しく演奏してみよう!

Gymnopédies No.1

ジムノペティ第1番

Chord progression: C Maj7, G Maj7, Bm, Em, Am, Am7, G Maj7.

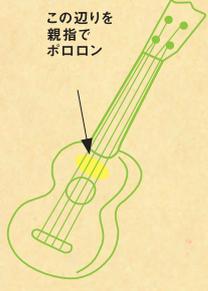
Staff 1: Chords C Maj7, G Maj7, C Maj7, G Maj7. Notes: D, F, D, F.

Staff 2: Chords C Maj7, G Maj7, C Maj7, G Maj7. Notes: シ, レ, ド, シ, ファ#, ミ, ファ#, ソ, レ.

Staff 3: Chords C Maj7, G Maj7, C Maj7, G Maj7. Notes: シ, シ, シ, シ.

Staff 4: Chords Bm, Em, Am, Am7, G Maj7. Notes: シ, ミ, ラ, ラ, ソ.

この辺りを親指でポロン



左手指番号



「音楽界の異端児」とよばれ、数多くの革新を起こしたフランスの作曲家エリック・サティ。彼が1888年につくったこの曲は、ゆったりとしたテンポで部屋のなかを満たすような、それでいて飾り気のないメロディが特徴。今回は導入部分のみですが、これを機会にぜひ、サティの音楽にふれてみてください。



Ukulele Skills

ウクレレのひきかたのコツ



1. ウクレレを持ってみよう

最初は慣れるまでひざの上にウクレレをのせ、ウクレレが動かないように右ひじでかかえるようにして持ちます。人差し指のつけ根でウクレレのヘッドを支えましょう。

2. ドレミをひいてみよう

音符の色とおさえる弦の場所が同じです。左手で、1フレット・ファは人差し指、2フレット・レは中指、3フレット・ドは薬指で弦をおさえます。ラ・ミ・ド・ソは、弦をおさえずに、右手親指でそれぞれ下に向かって、やさしくひばるようにしてひきます。



3. メロディをひく前に

この曲は二長調 (D Major) で作曲されていますが、今回はウクレレのためにト長調 (G Major) にアレンジしています。まずは、ト長調をひいてみましょう。ソの音から始めて「ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ド」と聞こえるように、ファの音は#にします。



4. メロディと伴奏をひいてみよう

ドレミの場所をおぼえたら、右手の親指でひいてみましょう。3/4 拍子は1小節に3つの拍があります。1、2段目の次は3段目をひき、次に2段目、4段目と進行します。

1
段目

最初の4小節は伴奏パート(下段)から始まります。

1小節目 コードの押さえかたを参考にCMaj7 1弦2フレットを3(薬指)で押さえましょう。1拍目に3弦のドの音をひいて、2拍目にCMaj7をポロロンと優しくひきましょう。3/4拍子なので、ポロロンはしっかり2拍のばしましょう。指の腹の部分をおさえると音がきれいにみえません。指を立てておさえるときれいな音が出ます。

2小節目 1小節目で押さえていた薬指はそのままに、2弦2フレット・ファの#と3弦2フレット・レの音を中指の腹の部分でまとめて押さえましょう。1拍目に1弦のソの音をひいて2拍目にGMaj7をポロロンと1小節目と同じように優しくひきましょう。3小節目以降は、3段目までは同じことの繰り返しです。

2
段目

1小節目 メロディパート(上段)は1拍目は休んで2拍目から、伴奏パートのポロロンとメロディの始まりを合わせます。1弦5フレットのレが出てきます。ト長調をしっかりと練習してからひいてみましょう。

3
段目

メロディパートは1弦2フレットのシの音をひきます。しっかり音がのびるように練習しましょう。

4
段目

メロディパートは3段目と同じようにしっかりと音をのばしましょう。伴奏パートはBmを押さえるのがちょっと大変かもしれませんが、リズムに合わせてコードを変えられるように何度も練習しましょう。

5. 合奏してみよう

さあ、メロディとコードをおぼえたら合奏です。お子さんはメロディ、お父さん、お母さんは伴奏のコードを、お互いまちがえてもひきなおさないように、リズム通りひけるように練習しましょう。何度もまちがえるところは、合奏する前によく練習しておきましょう。ひけるようになったら、メロディと伴奏パートを交換して、親子で一緒に楽しい時間を過ごしてください。

マンモススクール・ウェブサイトでは、松井先生によるウクレレのひきかたのコツと「ジムノペディ第1番」の演奏を動画でみるができます。

マンモススクール・ウェブサイト

www.mammothschool.com

松井朝敬 1900～1940年代のスウィング、ジャズ、ハワイアンなどを演奏する日本でもめずらしい演奏家。バンド「スウィート・ホリワイアンズ」を率い、日本、アメリカ、ヨーロッパとワールドワイドに活躍している。www.sweethollywaiians.com



愛にあふれたウクレレづくり

1916年から約100年にわたり高品質のウクレレをつくりつけてきたハワイの老舗ウクレレメーカー。職人たちが受け継いできた伝統技術を大切にしながらも、よりよいサウンドや演奏性を日々追求し、そのウクレレの音色はジェイク・シマブクロをはじめとする世界中のミュージシャンやウクレレファンを魅了しつづけています。ハワイアン・コアがつくりだすあたたかみのある深い音色は、まさにハワイアン・ウクレレの源流といえます。

Kamaka Ukulele Standard Model

貴重なハワイアン・コア材を用いた、カマカウクレレの定番シリーズ。子どもから大人まで幅広い層から指示されるソプラノウクレレのHF-1とHP-1。HP-1は、HFよりも柔らかい音が特徴で、パイナップルの形に似ていることからパイナップルウクレレとして長い間親しまれてきました。HF-2はコンサートシリーズで、より本格的にウクレレを楽しみたい方におすすめ。



Kamaka HF-1 Soprano Standard

Kamaka HP-1 Soprano Pinnapple

Kamaka HF-2 Concert Standard

※すべてオープン価格です。

【お問い合わせ】 KAMAKA UKULELE 日本総代理店 (株)黒澤楽器店 ☎ 03-5911-0611 www.kamakaukulele.jp